

平成24年度第3回宇都宮市河内自治会議録

- 1 日時 平成24年6月28日(木) 午後2時00分～午後4時25分  
 2 場所 河内地域自治センター 第1・2会議室  
 3 出席者  
 【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 石渡重道委員, 磯川康男委員,  
 計18名 伊藤昭博委員, 太田達彦委員, 加藤幸雄委員, 君島京子委員, 駒田静雄委員,  
 櫻井基一郎委員, 渋井トミ子委員, 清水恵美委員, 田村正男委員, 中西幸子委  
 員, 中山光幸委員, 真壁諦委員, 松谷宣子委員, 吉田恵美子委員  
 【事務局】 河内地域自治センター所長, 北部地区行政推進担当参事, 地域自治制度担当副  
 計9名 参事, 地域経営課長, 他5名  
 4 会議の公開・非公開 公開  
 5 傍聴者数 なし  
 6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は18名, 五月女委員, 高久委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①合併市町村基本計画の執行状況について

- ・答申書(素案)への意見について

発言者	発言内容
会長	前回の会議で, 市長から諮問を受けた主要施策事業の執行状況について, 皆さんから出た意見を参考に私と副会長で協議し, 文言等について整理を行い, 事務局で答申書(素案)としてまとめてもらった。事務局から説明をお願いする。
事務局	資料1の説明
会長	答申書(素案)について, 意見や質問はあるか。
委員	<p>事案ごとに, もう少し議論しても良いのではないかと。素案を見ると一部変わっている所はあるが, あまりにも抽象的だと思う。</p> <p>例えば, 1ページの道路新設改良事業の23年度の意見を見ると「未着手路線につきましては, 今後, 必要性を十分に検討する必要がある。」と意見を述べているが, 24年度の意見(案)を見ると「未着手路線の市道20354号線については, 整備中の路線の進捗状況を見極めながら, 整備に向けた検討が必要だ。」となっており, 読む人が何を言っているのかつかめないのではないかと。</p> <p>市道20354号線については, 整備をしても, どれだけのメリットがあるか課題がある。もう少し具体的に表記したほうが良いのではないかと。これでは, 思惟がつかめないのではないかと。</p> <p>また, 24年度の意見(案)で, 「上記路線以外の整備が必要な路線については」とあるが, 何が上記以外の路線なのか具体的に記載すべきではないかと。もう少し具体的に記載することが必要ではないかと。もし時間があるなら, 各事業について, もう一度, 意見を聞いてはどうか。</p>
会長	今の質問の1つは, 24年度の意見の表示の仕方について。もう1つは, 委

	員の皆さんが今のご指摘に対して、どのような意見をもたれるかだ。事務局から、これまでの検討内容について、何かあるか。
事務局	<p>市道20354号線の南側を通る市道20042号線の整備については、鋭意に取り組んでおり、早期完成を目指している。その進捗状況を見極めながら、市道20354号線については、その有効性や地域住民及び地権者の意向を確認したうえで、総合的に判断されていくものと考えている。そのため、このような意見（案）として表記した。</p> <p>委員からの提案で、計画を見直すことも必要という意見が出ているが、合併市町村基本計画において、これらの8路線を整備することとなっているため、現時点では、会長・副会長と協議のうえ、このような表記とした。</p> <p>資料1の1ページ【24年度の意見（案）】の7行目の「上記路線」とは、合併市町村基本計画の8路線を示したもので、わかりにくい表現であれば、「8路線」「事業計画された路線」という表記に変えることも可能だがいかがか。審議をお願いします。</p>
会長	道路新設改良事業で8路線を整備することとしており、自治会議では、この事業について評価する。具体的な整備の仕方を記載した方が良いという意見でよろしいか。
委員	市道20354号線の説明で、道路の有効性、住民の利便性が述べられたので、それを入れれば、読み手が理解できるのではないか。8路線だけを推進するという意見では、我々がいる意味がないのではないか。いかに、より良くしていくかということが出てこなければ、審議にならないのではないか。必要のないものは、カットしても良いのではないかということも含めて、検討したほうが良い。道路の有効性、住民の利便性が記載されれば、より具体的になるのではないか。8路線以外の表記については、この表記で良いと思う。
会長	委員からは、「路線を整備する有効性、市民にとっての利便性」という意見を表記したいということだが、いかがか。この表現に変えることでよろしいか。
全委員	異議なし
会長	他の部分でも、表現を変えた方がわかりやすいという箇所があれば、是非、出してほしい。他に気づいた点はあるか。
委員	農村公園について、名称変更と利用方法の検討について意見を出したが、意見（案）の「地元自治会等の意向を踏まえて」との表記の中に反映されたのか。
会長	名称変更については、検討したが、業務名の変更に当たるので難しく、簡単にはできない。農村公園という名称のイメージが、良くないという趣旨だと思うが、もう少し、名称を変更したい点について補足説明をお願いします。
委員	<p>農村公園という名称が、現代に合わない。「ファーマーパーク」とかに名称を変えることもフレキシブルに対応してほしい。だめだと言う事は一番簡単だ。</p> <p>24年度の意見（案）は、23年度の意見と比べると、かなり変わっていると思う。もう少し踏み込んで考えれば、良い案が出るのではないか。人・手間・時間の関係があるので、この辺が妥当で、良しとすべきなのか。あるいは、あきらめることになるかだ。</p>
事務局	<p>農村公園整備事業の名称については、事業の名称として捉えていただきたい。</p> <p>農村公園として整備が進めば、地元との協議を行うなどして、公園の名称が決まると聞いている。事業名については、合併時に旧宇都宮市と旧河内町が協</p>

	議した合併市町村基本計画により決められているため、変更することはできない。ご理解いただきたい。
会 長	主要施策事業に対する我々の評価については、資料1の【24年度の意見(案)】の表記でご了解いただき、これからの提案の中で、自由な意見・議論をお願いしたい。よろしいか。
全委員	異議なし
会 長	今後、答申書(案)としてまとめてよろしいか。
全委員	異議なし
会 長	皆さんから出た意見を踏まえ、私と副会長で協議し、文言等について整理を行い、答申書(案)としてまとめ、次回会議で協議し、決定していきたい。まとめ方については、私にご一任いただけるか。
全委員	異議なし
会 長	次回に、答申書(案)を提示するので、審議をお願いする。

②地域のまちづくりに関する施策の提案（テーマ「教育・文化・健全育成」）について  
・目標の決定について

発言者	発言内容
会 長	<p>前回の会議で、『テーマ：教育・文化、健全育成』についての現状や課題を踏まえた10年後の地域の姿について、熱心にグループ協議していただき、グループごとに目標をまとめ、提出していただいた。</p> <p>それを基に、私と副会長で協議し、文言等について整理し、事務局で資料にまとめてもらった。</p> <p>それでは、協議事項『(2) ①目標の決定について』を議題とする。</p> <p>事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<b>資料2の説明</b>
会 長	それでは、資料2について説明があったが、何か意見・質問等はあるか。
委 員	もう少しわかりやすい表現としたほうが良いのではないかと考えた案を持参したので、コピーして皆さんにお渡ししていただきたい。一番の要になると思うので、いかがか。
会 長	<p>この後のグループ協議の中で、協議することとしてはどうか。</p> <p>目標ありきで検討するのか、それとも、実現方策を検討しながら、同時に目標も検討していくのか。どちらがよろしいか。</p>
委 員	内容を変更したいという提案ではないので、実現方策を検討しながら、目標も検討していくことで結構。もう少しアピール力のある言葉にしたほうが良いと考えたためである。内容は変わらないのでこれで結構だ。
会 長	グループで協議した結果を、後で発表していただきたいが、よろしいか。
委 員	具体的な目標の表現について提案が出されたが、それをいただければ、更なるヒントになるのではないかと。これから実現方策を検討するに当たって、ためになるのではないかと。後からでなく、今いただきたい。
会 長	今、配付する。変更の有無について、グループごとに検討していただきたい。
委 員	委員の提案は、表記を具体的にただけで、目標そのものを否定しているものではない。これは、このまま活かしていいと思う。参考という位置づけでよ

	ろしいのではないか。
会 長	それでよろしいか。
委 員	それで結構だ。
会 長	委員から提案の趣旨について、説明をお願いします。
委 員	目標を見て、もっと具体化したほうが良いと思った。1.「文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』」を、「文化の宝を輝かせ、地域の魅力を発する『まち』」とする。2.「生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』」を、「幼い子から大人まで、学んで励まし合える『まち』」とする。3.「水と緑を活かした学びを通し、自然と親しめる『まち』」を、「水と緑をしっかりと守り、自然と共に生きる『まち』」とする。4.「地域のみんなが楽しく行事に参加し、交流の盛んな『まち』」を、「伝統行事を盛上げて、新たな行事を創りだし、年中楽しく集える『まち』」とする。 同じ意味合いでも、皆さんどう感じるのかと思い作成した。
会 長	委員の提案で変更したいということだが、この場で決めるのではなく、これらを素材にして、グループで協議していただきたいと思うがいかがか。
委 員	私は、会長と副会長で作成した資料（案）でよいと思う。あくまでも委員からの提案は、参考として捉えている。
会 長	提案した委員は、取り替えてほしいということか。
委 員	そうではない。皆さんがどう思っているのが重要である。ただ、このまま進めるよりは、1つ1つの内容を考えるのに、少し参考になるのではないかと考えていたためである。いっさいこだわらない。
会 長	いろいろな意見があるようなので、各グループで検討していただきたい。私も各グループを回らせていただき、皆さんの意見をお聞きして、検討のうえ、最終的な目標の表現を決めていきたいと思うがいかがか。また、それを保留としたいが、いかがか。
全委員	異議なし
会 長	各グループで協議していただくこととし、最終的な目標の決定は保留とする。

#### ・実現方策の設定について

発言者	発言内容
会 長	それでは、協議事項『(2) ②実現方策の設定について』を議題とする。 事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>資料3の説明</b>
会 長	資料3について事務局から説明があったが、何か意見・質問等はあるか。
全委員	異議なし
会 長	それでは、実現方策について、グループ協議を進めていただく。 各グループには、サポート役として事務局職員が入り、私も各グループを回るので、質問等があれば聞いていただきたい。午後3時40分まで、グループ協議をお願いします。
<b>実現方策を抽出するためのグループ協議を実施</b>	
会 長	時間になったので、発表していただきたい。C・A・Bグループの順で発表

	<p>をお願いします。目標についての協議結果も、一緒に発表願いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>Cグループから発表する。</p> <p>「文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』」の1番目としては、「歴史資料・ルートマップの作成」をして、地域の地理を皆さんに知ってもらうため、河内の八景とか、歴史・風土・文化財を組み込んだマップを作成したい。2番目としては、「故郷資料館の開設」。資料館がほしいということで、古い施設を利用して、開設できれば良いのではないかと。3番目としては、「郷土の歴史・文化教育の充実」ということで、学校教育の徳育の授業で子どもたちに教育していただきたい。</p> <p>次に、「生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』」の1番目としては、生涯学習センターなどにおいて、子どもから高齢者までのセミナーを開いてもらい、3世代の交流の場を持ち、生涯学習の充実を図りたい。2番目としては、高齢者の経験を活かした後継者の育成を図る。地域の高齢者は、いろいろなことを知っているのだから、それらのことを、子どもたちへ教えてほしい。3番目としては、地域全体でかかわることで、安心・安全なまちづくりが出来るのではないかと。</p> <p>次に、「水と緑を活かした学びを通し、自然と親しめる『まち』」の1番目としては、この地域は自然が豊富にある。谷川、西鬼怒川、山田川と3つの河川があり、古田地区には、開拓によって造られた御用川がある。1番目としては、自然を活かした山・河の散策路を整備する。田原地区には、古い街道があり、佐貫（塩谷町）方面まで道が続いているのだから、それらを活用した散策路を整備してはどうか。2番目としては、豊かな自然を活かした環境保全を小・中学校での徳育としてどうか。子ども達に、自然の大切さを再認識してほしい。3番目としては、農業体験・食育を通して自然の大切さを知ってほしい。</p> <p>次に、「地域みんなが楽しく行事に参加し、交流の盛んな『まち』」の1番目としては、各種団体・学校との連携の強化を図り、地域の交流を盛んにするわけだが、なかなか難しい。2番目としては、伝統行事・祭・各種イベントで皆が楽しめるようにしていく。3番目としては、芸術・文化・スポーツの分野で、文化祭や運動会の開催をもっと充実させて、みんなで普及させていくことだ。</p>
<p>委員</p>	<p>Aグループから発表する。</p> <p>「文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』」の1番目としては、文化財や地域の歴史の学習会を設ける。歴史や文化財を良く知らないのだから、学習会を設けようと考えたためだ。2番目としては、文化財の存在を広く知らせる。3番目としては、文化財を公開して多くの人に見てもらおうことだ。</p> <p>次に、「生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』」の1番目としては、異世代交流の場を増やす。現在、異世代交流の場が設置されているが、増やしていこうということ。2番目としては、年齢に関係なく楽しく学べる場をつくる。子どもから高齢者まで、多くの人々が楽しく学べる場を設けると、子どもから笑顔があふれるまちになるのではないかと考えた。また、いろいろな人が入りやすい学びの場があると良いだろうと、グループ内で意見が出たが、うまく文章に表現できなかつた。実現プランの段階で、良い案が出てくるのではないかと。</p>

	<p>次に、「水と緑を活かした学びを通し、自然と親しめる『まち』の1番目としては、子ども達による地域内交流。子ども達の体験学習とか自然散策とか、いろいろ考えて自然に楽しめる交流の場を設けてはどうか。2番目としては、自然の中でみんなが遊べる場をつくる。水と緑を活かした自然で遊べるまちをつくれば楽しいのではないか。3番目としては、自然を大切にする教育。子どもをはじめ私達にも、自然を大切にする教育が必要ではないか。これからの子ども達にも、河内地区の自然を大切にする教育をしてほしい。</p> <p>最後に、「地域 みんなが楽しく行事に参加し、交流の盛んな『まち』の1番目としては、自治会のイベントの情報交換と交流。各自治会では様々なイベントを開催しているので、その情報交換をして、自治会間で交流の場を設ける。2番目としては、地域が一丸となり楽しめるイベントの実施。自治会を越えて、地域が一丸となり楽しめるイベントを実施すると、さらに楽しい交流が深まると思う。3番目としては、伝統行事を盛りあげれば、さらに楽しい行事になり、さらに交流が盛んなまちになると思う。</p>
委員	<p>Bグループから発表する。</p> <p>「文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』の1番目としては、文化財を洗い出し、それらを活用できる“場”を設ける。2番目としては、有形・無形の文化財の管理と伝承者を養成する。特に無形の文化財についても、学校等で教育を行う。出向いて教育を行うことも必要ではないか。3番目としては、文化財を活かし、現在に活かす仕組みを学ぶ。学校を中心にして、有形・無形の文化財についても、教育を行い、次の世代に伝承していく。</p> <p>次に、「生涯学習の充実により、子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる『まち』の1番目としては、年代を越えてお互いに学び、実践する“場”を設ける。特に、高齢者と年少者の交流を多くすることで、広い交流の場を設けていく。2番目としては、自治会と地域を主体とする学びの“場”を設ける。特に、自治会中心に地域ごとの教育。生涯教育の中でも、地域での小さなまとまりの中での教育が必要である。3番目としては、一人一人が目標をもって生き生きと学べる“場”をつくる。それぞれが仕事以外に、いろいろな学習の目標を持って、学習していこうというもの。</p> <p>次に、「水と緑を活かした学びを通し、自然と親しめる『まち』の1番目としては、河内の自然をしっかりと守るシステムをつくる。自然を守る環境をつくらうというもの。2番目としては、自然を学ぶ“場”を設ける。ミニ耕田を使用したり、それらを利用したイベントを開催して、自然を体験するという。3番目としては、生物・農産物の大切さを学び実践する仕組みをつくる。自然以外にも農業に関連して、農作物、田畑に生息する生物の大切さを学び、自然との結びつきを再確認するもの。</p> <p>最後に、「地域 みんなが楽しく行事に参加し、交流の盛んな『まち』の1番目としては、全員が愉しめる盛りたくさんの行事を企画・実行する。市民活動の中で、いろいろ企画できるものがあると思うので、様々なものを掘り出していこうというもの。2番目としては、地域の行事の参加と指導者の育成を促進する。地域の行事を企画した場合に、皆さんにも大いに参加してもらうことと、それらを指導していくこと。継承にも関連していくが、後世に継承していくためにも、指導者の育成が必要である。3番目としては、行事を開催する場</p>

	所の整備と有効活用を図る。イベントや行事を企画した場合には、開催する場所が重要となる。開催場所によっては、参加が限られてしまうので、場を設ける必要がある。
会 長	各グループから、実現方策が発表された。発表内容について、質問、意見はあるか。
委 員	3グループの発表を聞いて、この実現方策は、言葉の表現は違うが、大同小異だと思う。ほとんどがニュアンスとして一致しているということを強く感じた。特に、1番目の文化財の活用に関しては、Aグループでは「文化財の公開の場がほしい」ということ、Bグループでは「文化財を洗い出して、活用できる場を設ける」ということ、Cグループでは「故郷資料館を開設」ということが書かれている。河内としては、これらのことが存在していないのでほしいということが、今までの要望としてあがっているが、この辺を合併市町村基本計画の事案に中でも、地域自治拠点整備事業にも、中央公民館改修整備事業でも触れているが、ここに具体的に故郷資料館がほしいと盛り込んでも良いのではないか。自治拠点と生涯学習センターを統廃合し整理して、ニーズに合ったものを有機的に考えて行こうと記載されている。例えば、郷土資料館や歴史資料館がほしいということを含めて、表記すれば、市で議論されている事案についても、盛り込んでもらえるのではないか。10年後を目指して、訴えるのではなく、今ここで訴えておくことも布石として必要だ。各整備事業と諮問に対する答申についても、具体的なものがほしいということを、これらで表現できるのではないかと強く思う訳である。
会 長	各グループから実現方策が出されたが、まとめ方については、私と副会長にご一任いただけるか。
全委員	異議なし
会 長	委員から提案された目標について、意見は出なかったが、いかがか。
委 員	Aグループでは、資料2の目標(案)のNo.1と4はそのままとし、No.2を委員からの提案の「幼い子から大人まで、学んで励まし合える『まち』」とし、No.3を委員からの提案の「水と緑をしっかりと守り、自然と共に生きる『まち』」としてはどうかという意見でまとまった。
会 長	ここで目標を最終的に決定することではないので、提案書としてまとめる際に、皆さんの意見を聞いてから決定していきたい。それまでに表現の方法等について、考えておいてほしい。 次回には、実現方策について、まとめて皆さんにお示しするので、審議をお願いします。

(3) その他

①次回の開催日程について

- ・平成24年7月24日(火)午後2時開催予定

②その他

- ・北東部「地域」市民フォーラムのお知らせ
- ・河内地区まちづくり懇談会のお知らせ

(4) 閉会